

業務案内



〒525-0059 滋賀県草津市野路六丁目9番23号（本館棟）
TEL 077-565-0033（代表）
TEL 077-565-0214（総務課）
TEL 077-565-0216（技術課・研修課・技術支援課）
FAX 077-565-0108

〒525-0059 滋賀県草津市野路六丁目8番34号（試験棟）
TEL 077-565-0226
FAX 077-565-0388

〒522-0071 滋賀県彦根市元町4番1号（彦根分室）〈滋賀県湖東合同庁舎3F〉
TEL 0749-21-3434

〔ホームページアドレス〕<http://www.sct.or.jp/>
〔メールアドレス〕contec@sct.or.jp

ごあいさつ

滋賀県建設技術センターは、公益財団法人としてより良質な社会資本の整備や技術水準向上のため、県および市町等の建設事業の支援に取り組んでいます。

近年、人口減少・少子高齢化の進展に伴う担い手不足、気候変動の影響により頻発・激甚化する自然災害への対応など多くの課題を抱える建設分野において、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進等による風土や働き方の変革がますます重要となってきています。

このような中、県内唯一の公的な発注者支援機関として、県および市町等のみなさまから信頼され、期待に応えられるセンターを目指して役職員一丸となって研鑽してまいりますので、ご指導、ご協力を賜りますとともに、センターを積極的にご活用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

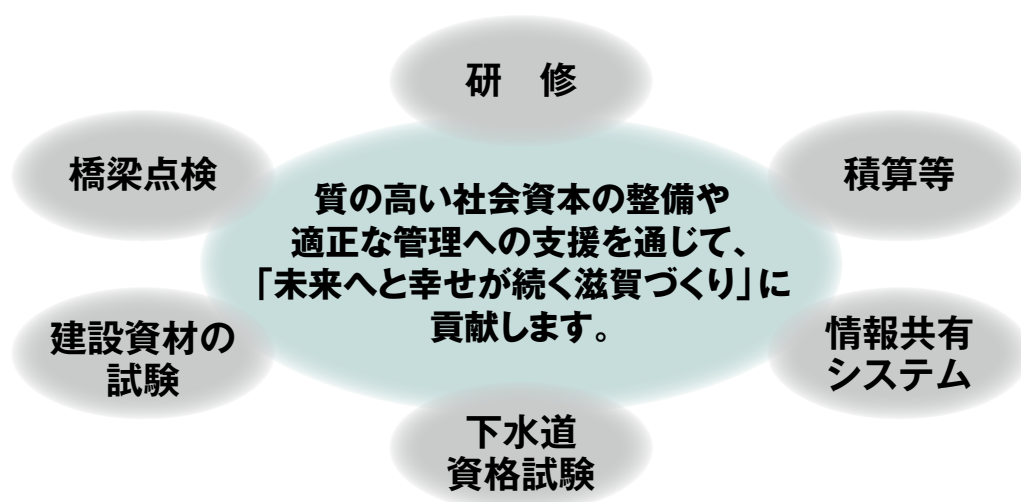
令和5年（2023年）4月

公益財団法人 滋賀県建設技術センター
理事長 川 浦 雅 彦



業務の概要

（中期経営計画より）



財団の沿革

■財団の設立 設立許可：昭和58年7月30日

設 立：昭和58年8月1日

■基本財産 7,000万円

■主な経緯 平成6年4月1日 財団の事業・組織体制の拡充
(地方公共団体の建設工事の設計管理、積算、施工管理業務、市町派遣研修生の受入)

平成10年4月1日 (財) 滋賀県下水道技術センターを統合

平成10年4月8日 財団の所在地を大津市より現在地に移転

平成11年4月1日 建設資材試験場を現在地に移転

平成18年4月1日 財団の事業の拡充(支援検査業務)

平成19年4月1日 財団の事業の拡充
(下水道排水設備工事責任技術者試験等業務、電子媒体化支援業務)

平成21年4月1日 財団の事業の拡充(森づくり活動推進業務)

平成23年4月1日 財団の事業の拡充
(滋賀県工事管理情報システム、積算システム共有化)

平成24年4月1日 公益財団法人へ移行

平成27年4月1日 財団の事業の拡充(橋梁点検業務)、技術支援課の設置

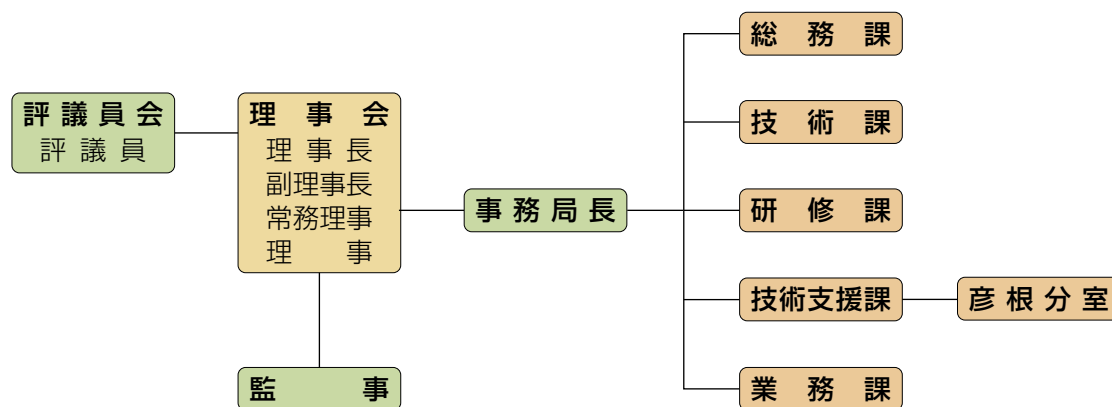
令和5年4月1日 研修課新設

施設の概要

■敷地(県有財産) 9,074㎡

■建物(県有財産) 本館棟：鉄筋コンクリート造2階建 延床面積1,425.91㎡
試験棟：鉄筋コンクリート造平屋建 延床面積 449.08㎡
附属施設：駐車場(86台収容) 自転車置場

組織図



1

建設DXの普及

①DXブースの開設

令和4年7月にDXブースを開設しました。3Dプリンター・タイムラプス・各種ドローンなどの情報を得ることができます。メタバースでも見られますので是非ご利用ください。



メタバース
QRコード

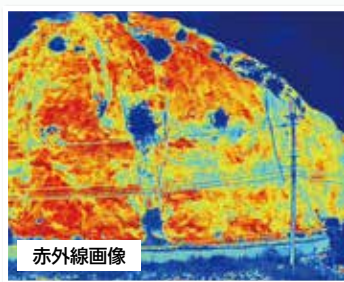


タイムラプス
QRコード



③赤外線ドローンの活用

コンクリート法面の空洞を効率的に調査する手法として、赤外線ドローンの活用検討を大学と連携して進めています。

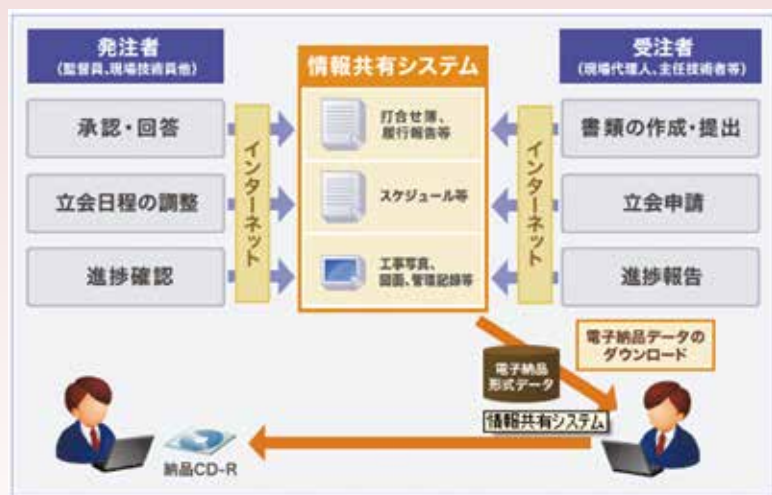


2

積算等の技術支援・情報の共有化

積算・設計管理等を受託し、県や市町への技術支援を行っています。

受注者と発注者との間でやり取りされる工事情報の共有化を行っています。また、市町で利用する積算システムをセンターで集中管理しています。



3

研修事業

社会情勢の著しい変化に対応し得る専門的な知識と技能を有する技術職員の育成を図るため、市町・県建設技術職員および民間建設技術者への研修を実施します。



測量講座



橋梁保全講座



技術士2次口頭試験対策

- 市町建設技術職員研修
- 県建設技術職員研修
- 民間建設技術者研修
- 市町職員長期実地研修
- 市町職員積算等短期実務研修

令和5年度 研修日程

1 市町建設技術職員研修

(1) 基礎・専門研修

実施月日	研 修 科 目
5月1～2日	土木講座
5月22日	積算（初心者向）講座
5月24日	積算（経験者向）講座
6月22～30日	新積算システム操作研修

(2) 情報化支援研修

実施月日	研 修 科 目
7月 3日	JwCAD（初級）講座
7月10日	JwCAD（応用・建築編）講座
7月 6日	CAD（初級）講座
7月18日	CAD（応用）講座

(3) 県建設技術職員研修との合同研修

実施月日	研 修 科 目
4月27日	現場研修
5月 9日	土木行政（管理・用地）講座
4月27日	現場研修
5月11日	工事監督講座
5月18日	積算研修（応用・改算編）
5月30日	技術士 2次試験対策
6月 8日	災害復旧講座
7月 5日	地質調査講座
7月25日	土木材料（コンクリート）講座
8月 1日	河川講座
8月 3日	技術士 1次試験対策
8月 8日	砂防講座
8月22日	工事検査講座
8月31日	安定・構造計算講座
9月 5日	1級土木施工管理技士 試験対策
9月 7日	品質確保・安全管理講座
9月12日	橋梁保全Ⅰ講座
9月21日	橋梁保全Ⅱ講座
9月26日	測量講座
9月28日	下水道講座
11月22日	技術士 2次口頭試験対策
12月22日	土木技術研究発表会
R6 2月 9日	1級土木施工管理技士 申込解説
R6 2月 9日	公共工事品質確保技術者試験対策
R6 3月14日	技術士 2次申込書き方

2 県建設技術職員研修

(1) 必須・基礎・専門研修・技術力向上研修

実施月	研 修 科 目
4月	新規採用者研修（前期）、現場研修
5月	管理・用地講座、工事監督講座、積算研修（新規採用者）、積算研修（過年度採用者）、積算（応用・改算）講座、施工管理研修：土木基礎（新規採用者）、技術士2次対策
6月	施工管理研修：品質・測量（新規採用者）、災害復旧
7月	地質調査講座、土木材料（コンクリート）講座、積算研修：積算業務（新規採用者）、積算研修：積算業務（過年度採用者）
8月	河川講座、技術士1次対策、砂防講座、工事検査講座、安定構造計算講座
9月	1級土木2次対策、品質確保・安全管理講座、橋梁保全Ⅰ講座、橋梁保全Ⅱ講座、測量講座、下水講座
10月	新規採用者研修（後期）、建設DX講座、Ⅱ科研修
11月	現場体験研修、技術士口頭試験対策
12月	土木技術研究発表会
R6 2月	1級土木申込試験対策、公共工事品質確保技術者試験対策
R6 3月	技術士2次申込試験対策

(2) 情報化支援研修

実施月	研 修 科 目
7月	CAD（応用）講座、JwCAD（初級）講座、JwCAD（応用・建築編）講座、CAD（V-nas基礎）講座
10月	建設DX講座（ICT活用）

3 民間建技術者研修

実施月日	研 修 科 目
7月 3日	JwCAD（初級）講座 CPDS番号790283 7unit
7月 6日	CAD（入門）講座 CPDS番号790284 7unit
7月10日	JwCAD（応用・建築編）講座 CPDS番号790285 7unit
7月20日	専門研修 維持管理講座 CPDS番号790287 7unit
8月24日	専門研修 現場管理講座その1 CPDS番号790288 7unit
7月18日	CAD（応用）講座 CPDS番号790286 7unit
10月26日	専門研修 現場管理講座その2 CPDS番号790289 7unit

4

橋梁点検事業

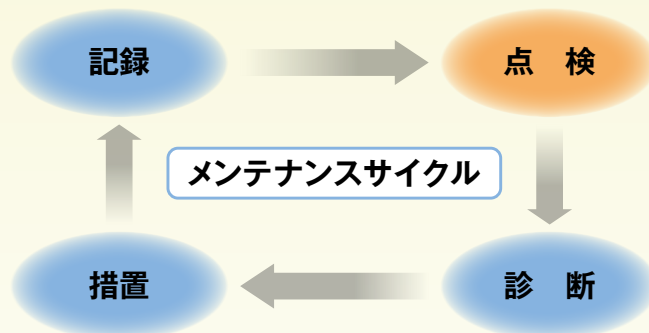
平成26年度に滋賀県道路メンテナンス会議が設置され、市町の「技術者不足・予算不足」への支援策が必要となりました。当センターでは、平成27年度からメンテナンスサイクルのうち「点検・診断業務」の地域一括発注を実施、支援をしています。



橋梁点検車による点検



市町職員との現地確認

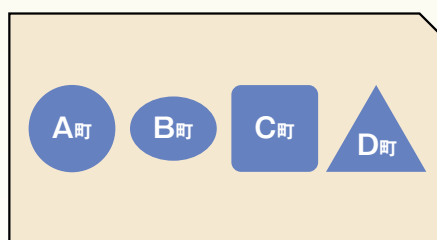


ロープアクセスによる点検



高所作業車による点検

業務の流れ



基本協定の締結

年度協定の締結

各市町へ納品

公益財団法人 滋賀県建設技術センター

- ・橋梁基礎情報の収集
- ・地域単位で一括発注
- ・点検・診断の実施
- ・成果とりまとめ
- ・判定会議の開催
- ・修繕工事記録の蓄積



※高度な技術的課題等へ対応するため、テクニカルアドバイザー協定により、学識経験者から助言・指導を受けて諸課題に対応します。

5

下水道排水設備工事責任技術者試験等

下水道を円滑に機能させるためには、家庭や事業所からの下水を公共下水道に流入させる排水設備を適正に設置する必要があり、下水道法等により規定が設けられています。また公共下水道管理者の指定を受けた事業者（指定店）のみが、その設置工事を行うことができるとされ、指定店には「下水道排水設備工事責任技術者」を少なくとも一名専従させることが義務付けられています。

当センターでは、下水道排水設備工事責任技術者資格の認定試験および更新事務を所管するとともに、受験講習や更新講習を行うことにより、優れた責任技術者の育成及び技術の向上を図ります。

- 試験は毎年1回実施し、受験者のうち希望者には事前に受験講習を行います。
- 試験合格者は登録と責任技術者証の交付を受け、同技術者としての業務を行うことができます。
- 資格の有効期限は5年で、更新時期を迎えた責任技術者は、当センターの行う更新講習を受講することにより、継続して登録を受けることができます。



更新講習：湖南会場（コロナ対応で収容可能人数の50%以下での開催）

登録者数の推移(各年4月1日時点)

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
4,342	4,354	3,924	3,921	3,915	3,522	3,572	3,498	3,420	3,334

6

建設資材の品質試験



公的機関として、コンクリート・鋼材など建設工事材料の品質試験を行います。

試験項目および手数料

区 分	試 験 項 目	適 用 規 格	単 位	金額(税込)円 ～令和5年9月30日	金額(税込)円 令和5年10月1日～
コン ク リ ー ト	コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108	1本	1,120	1,100
	コンクリートの曲げ強度試験	JIS A 1106	1本	2,130	2,090
	切り取りコアの圧縮強度試験	JIS A 1107	1本	1,290	1,320
	ボス供試体の圧縮強度試験（公称寸法）	JIS A 1163	1本	1,120	1,100
	ボス供試体の圧縮強度試験（寸法測定）	JIS A 1163	1本	1,290	1,320
	コンクリートの切断	—	1面	1,070	1,100
	コンクリートの研磨又はキャッピング	JIS A 1132等	1面	1,070	1,100
	セメントミルク・モルタルの圧縮強度試験（円柱）	JIS A 1108等	1本	1,120	1,100
	セメントミルク・モルタルの圧縮強さ試験（角柱）	JIS A 1171・JIS R 5201	1本	1,120	1,100
	セメントミルク・モルタルの曲げ強さ試験	JIS A 1171・JIS R 5201	1本	1,560	1,540
	切り取りコア（モルタル）の圧縮強度試験	JIS A 1107等	1本	1,120	1,100
	セメントミルク・モルタルの切断	—	1面	610	660
	セメントミルク・モルタルの研磨又はキャッピング	JIS A 1132等	1面	530	550
	改良体の圧縮強度試験	JIS A 1108等	1本	1,120	1,100
	切り取りコア（改良体）の圧縮強度試験	JIS A 1107等	1本	1,290	1,320
	改良体の切断	—	1面	1,070	1,100
	改良体の研磨又はキャッピング（直径50mm以下）	JIS A 1132等	1面	530	550
	改良体の研磨又はキャッピング（直径50mmを超える）	JIS A 1132等	1面	1,070	1,100
鋼 材	岩石の圧縮強さ試験	JIS M 0302等	1本	1,290	1,320
	岩石の切断（円柱）	—	1面	1,070	1,100
	岩石の研磨（円柱）	JIS M 0302等	1面	1,070	1,100
	金属材料の引張試験	JIS Z 2241	1本	2,040	2,090
	金属材料の曲げ試験	JIS Z 2248	1本	2,040	2,090
	圧接・溶接継手の引張試験	JIS Z 3120	1本	2,040	2,090
鋼 材	圧接・溶接継手の曲げ試験	JIS Z 3120	1本	2,040	2,090
	単位質量試験（供試体の切断を含む）	JIS G 3112	1本	1,730	1,760
その他	試験結果表の再発行	—	1通	400	440
	滋賀県指定の封印	—	100枚	300	330

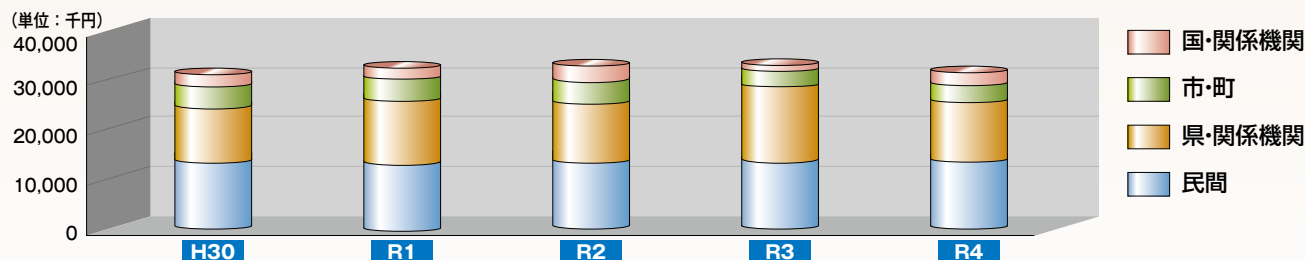
- 試験手数料の支払いは、銀行振込のみとなります。
- インボイス制度対応のため、10月1日より手数料を改定します。

当センターで試験を行うものとされている頻度

●滋賀県一般土木工事等共通仕様書を適用する工事の場合

●生コンクリートの圧縮強度試験		●鉄筋コンクリート用棒鋼の材料試験（使用量、用途にかかわらず）	
標準養生	採取したテストピース全数の20%程度	径別・材質別に1回（3本）	
現場養生	採取したテストピース全数	径別・材質別使用量が10tを超える場合は更に10t毎に1回（3本）	

年度別試験収入の推移



●図書頒布

設計便覧(案)下水道編の販売を行っています。
また、滋賀県一般土木工事共通仕様書等については、
滋賀県のホームページからダウンロードできます。

図 書 名	販売価格
設計便覧(案)下水道編 I	2,400円
設計便覧(案)下水道編 II	1,800円
設計便覧(案)下水道編 III	2,100円



本館棟



試験棟

資格保有者数

保有種別	保有者数	保有種別	保有者数
技術士（総合技術監理部門）	2	測量士補	5
技術士（建設部門）	6	道路橋点検士	9
技術士補	4	コンクリートの圧縮強度試験要員	3
上級技術者（河川・流域）（土木学会）	1	コンクリートの曲げ強度試験要員	2
1級土木施工管理技士	5	甲類火薬類保安責任者	1
1級舗装施工管理技術者	1	UAVフライト技術	5
コンクリート技士	3	第二種情報処理技術者	1
コンクリート主任技士	1	システムアドミニストレータ	1
コンクリート診断士	2	公共工事品質確保技術者（Ⅰ）	4
測量士	1	公共工事品質確保技術者（Ⅱ）	2

建設技術相談

公共事業の執行における技術的な相談にお答えします。
相談は無料です。

…………… お問い合わせは技術課まで ……………
TEL : 077-565-0216 FAX : 077-565-0108
Eメール gijyutsu@sct.or.jp

施工管理をする上で
もっと工夫できること
はありませんか？

新たな工事をコンサルタントへ
設計依頼する時、どのよう
な点に注意すればよい
でしょうか？

こういった特別な工事
の場合どのように積算
すればよいのかアドバ
イスを！

